学校番号	３０１３

令和８年度　工業科（建築設備系）

教科	工業科	科目	衛生・防災設備	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「衛生・防災設備」　文部科学省						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

排水設備や防災設備において、「実習」や「製図」、「設備計画」、「空気調和設備」との関連を考慮した内容となっています。これらの科目との関連を図り、様々な知識を確実に身につけてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・衛生防災に関わる設備について設計法や施工法と建築物との関係を踏まえて 理解するとともに、関連する技術を身に付ける
【思考力、判断力、表現力等】
・衛生防災に関わる設備に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に 基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
・衛生防災に関わる設備による生活環境の向上を目指して自ら学び、工業の発 展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	衛生・防災設備の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現することができる。	衛生・防災設備に関する諸問題の解決を目指して広い視野から自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	衛生・防災設備に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	排水処理設備	・排水浄化の原理と方法 排水浄化の原理 ・し尿浄化槽設備と排水再利用 し尿浄化槽設備 排水再利用	a:排水処理設備に関わるさまざまな事象やそれに関わる問題点を把握して分析し，習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。 b:排水処理設備について理解し、排水・再利用の手法を考察することができる。 c: 排水処理設備に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。	定期考査 確認テスト 課題プリント	定期考査 確認テスト 課題プリント	観察 課題プリント 提出ノート 振返りシート
2学期	防災設備	・消防用設備 消火設備 警報設備 避難・誘導 消火活動上必要な施設 防火戸と防火ダンパ ・消火設備と配管機器の設計 消火設備の設計	a:防災設備に関わるさまざまな事象やそれに関わる問題点を把握して分析し，習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。 b:防災設備について理解し、火災の種類や消火の手法を考察することができる。 c: 防災設備に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。	定期考査 確認テスト 課題プリント グループワーク	定期考査 確認テスト 課題プリント グループワーク	観察 課題プリント 提出ノート 発表 振返りシート
3学期	衛生・防災設備の施工	・機器据付工事 設備機材と工事 給水・給湯設備機器 ・衛生器具工事 工程 衛生器具の取付け 配管工事 保冷・保温工事 塗装工事 防音・防振・耐震工事 試験・検査・保守	a:衛生・防災設備の施工に関わるさまざまな事象やそれに関わる問題点を把握して分析し，習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。 b: 衛生・防災設備の施工について理解し、各工事の手法を考察することができる。 c: 衛生・防災設備の施工に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。	定期考査 確認テスト 課題プリント グループワーク	定期考査 確認テスト 課題プリント グループワーク	観察 課題プリント 提出ノート 発表 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度